

県議会だより

平成29年6月
定例議会

ジブリパーク(仮称)構想検討調査費を含む 平成29年度補正予算を可決

平成29年6月定例愛知県議会は、6月19日に開会し、18日間の会期を経て7月6日に閉会しました。その概要をお知らせします。

議員提案 (意見書)

議会の意思を国政に反映させるため、次の6件の意見書が可決され、衆参両院議長及び内閣総理大臣始め関係大臣等に提出されました。

- 踏切の安全対策の推進について
- 待機児童問題の解決について
- ギャンブル等依存症対策の強化について
- 鳥獣被害防止対策の強化について
- 性的少数者に対して理解のある社会の形成について
- チーム学校推進法の制定について

知事提案 議案

知事から、「平成29年度愛知県一般会計補正予算」や「副知事の選任について」など22件の議案(予算:2、条例:8、その他議案:11、諮問:1)が提出され、本会議の審議、委員会の審査を経て、すべて可決、同意又は審査請求に関する知事の裁決書(案)を適当と認めることとされました。

代表質問

6月21日、次の2人の議員が県政各般にわたる問題について、それぞれの会派を代表して質問しました。



自由民主党
飛田 常年

1 行財政運営

- (1) 県税収入の見通しと今後の財政運営
- 2 活力と魅力あふれる愛知の実現
 - (1) アジア競技大会の開催に向けた取組
 - (2) 観光振興
 - ア 国内外からの観光誘客の促進

- イ 東三河振興ビジョンによる観光振興の取組
- 3 新しい時代に飛躍する愛知づくり
 - (1) 科学技術の振興
 - (2) 農業の振興
 - ア 水田農業の振興
 - イ 施設園芸の振興
 - ウ 農業における獣害対策
 - (3) 愛知の成長を支える広域幹線道路の整備

詳細は右記にて

4 安全・安心な暮らしの実現

- (1) 次期医療計画の策定
- (2) 地域強靱化に向けた施策の推進
- (3) 治安対策

5 次代を担う人づくり

- (1) 教員の多忙化解消プランの推進

主な質問及び答弁内容

愛知の成長を支える広域幹線道路の整備

質問 日本経済の中心的な役割を果たしてきた本県が、今後も持続的に発展していくためには、物流の円滑化が求められている。首都圏から中京圏に及ぶリニア大交流圏の中で、一大産業拠点としての役割を担っていくためには、人やモノの移動をより一層スムーズにする広域幹線道路ネットワークの充実が重要である。そこで、リニア中央新幹線の開業を見据えつつ、愛知の成長を支える広域幹線道路の整備をどのように進めていくのか、知事の所見を伺う。

答弁 本県が、今後も日本経済をリードし続け、「産業首都あいち」を実現していくためには、空港・港湾等の交通拠点と生産拠点の連携を強化し、物流の効率化に資する広域幹線道路ネットワークの整備が重要であると考えている。名古屋環状2号線や名豊道路の全線開通に取り組んでいく。さらに、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現を図る。また、西知多道路の整備促進や名岐道路の早期実現を図るなど、リニアインパクトを広域的に波及させていく。今後も広域幹線道路ネットワークの整備を着実に進め、経済活動を一層活発にすることで愛知の更なる成長に繋げていく。



民進党
日比 たけまさ

1 産業育成で元気な愛知づくり

- (1) 自動運転の現状と今後の取組
- (2) 介護ロボットの支援
- (3) 中小企業の人材確保
- (4) 働き方改革の推進に向けた取組
- (5) 教員の多忙化解消に向けた市町村教育委員会との連携
- (6) 公契約条例の進捗状況

詳細は右記にて

- ア 協議の場における意見などを踏まえた今後の取組
- イ 市町村における条例制定の促進に向けた県の働きかけ
- (7) ラグビーワールドカップ2019を活用したインバウンド対策
- (8) 愛知環状鉄道へのICカード早期導入に向けた取組
- 2 安心して暮らせる愛知づくり
 - (1) 障害者差別解消法への取組
 - ア 本県における課題
 - イ 今後の方向性
 - (2) 部落差別解消推進法への取組
 - (3) 保育士確保に向けた取組
 - (4) 消費者トラブルへの対応
 - ア 未然防止対策
 - イ 市町村への支援

主な質問及び答弁内容

自動運転の現状と今後の取組

質問 愛知県は2015年8月、国家戦略特区(近未来技術実証特区)に地域指定され、「自動走行実証プロジェクト」を推進している。このプロジェクトでは、無人走行車両を利用したタクシーの旅客サービスや無人配送サービスなどの実証を行うこととしており、今年度は、社会的受容性を醸成することと、ビジネスモデルの創出に向けた検討を行い、自動運転に関する新たな産業の創出につなげていくことを目指している。そこで、自動運転に関する現状と今後について知事の所見を伺う。

答弁 警察庁が6月に策定した新しいガイドラインに基づく、運転席に人が乗車しない遠隔型自動運転システムによる公道実証実験については、名古屋市・春日井市・幸田町を候補地に夏頃の実施を目指している。また、実証実験の一元的な支援を行う、「あいち自動走行実証推進コンソーシアム(仮称)」を設置する。さらに、自動運転システムを活用した新たなビジネスの可能性や課題等について調査・分析し、その結果を踏まえ、テーマ別の研究会を立ち上げ、新たなビジネスモデルの具現化に向けた議論を進めていく。

一般質問

6月22日及び23日の2日間にわたり一般質問が行われ、次の14人の議員が県政の当面する諸課題について質問しました。

堀寄純一(自民)

- 1 生徒指導上の諸問題の現状と施策
- 2 「交番・駐在所再編強化計画」の検証
- 長江正成(民進)
 - 1 水辺の緑の回廊
 - 2 県営住宅
 - 3 文書管理
 - 4 伝統的地場産業の振興策
- 石井 拓(自民)
 - 1 地域医療構想
 - 2 県営都市公園の整備
- 岡 明彦(公明)
 - 1 若年者自殺予防対策

- 2 教員研修のあり方及び学校現場における研修内容の活用
- 3 県営都市公園におけるトイレの洋式化とAED設置
- 石塚吾歩路(自民)
 - 1 ゼロメートル地帯の防災・減災対策
- 森井元志(民進)
 - 1 子宮頸がん対策
 - 2 愛知県証紙
- 坂田憲治(自民)
 - 1 暴力団対策の取組方針
 - 2 出水期における洪水対策・土砂災害対策
 - 3 名古屋競馬

高木ひろし(民進)

- 1 障害者の生活と教育の保障
 - (1) 「施設から地域へ」の移行
 - (2) インクルーシブ教育
 - (3) 障害者差別解消推進条例
- 2 愛知県警察機動隊の沖縄派遣
- 辻 秀樹(自民)
 - 1 障がい者の雇用促進と定着支援
 - 2 特別支援教育の充実
- 田中泰彦(自民)
 - 1 アジア諸国に対する経済連携の取組
 - 2 LGBT

黒田太郎(民進)

- 1 介護予防への取組
- 2 アニマルセラピーへの取組
- 3 口腔ケアの充実
- 伊藤辰矢(自民)
 - 1 地場産業である窯業の振興
 - 2 アジア諸国との国際交流
- 小山たすく(民進)
 - 1 民間住宅を活用した公営住宅
 - 2 教員の多忙化解消プランと小学校英語教育の導入
- 寺西つみ(自民)
 - 1 児童自立支援施設「愛知学園」
 - 2 愛知県150年

県議会議員選挙に向け 議員定数等の調査開始

平成31年4月の愛知県議会議員一般選挙における議員の定数や選挙区等に関する調査を行うため、議員定数等調査特別委員会が設置されました。

議員定数等調査特別委員会(14名)

◎は委員長、○は副委員長

- | | |
|----------|-----------|
| ◎岩村進次(自) | 石井芳樹(自) |
| ○中村友美(民) | 飛田常年(自) |
| 直江弘文(自) | 鈴木 純(民) |
| 水野富夫(自) | 西久保ながし(民) |
| 小林 功(自) | 佐波和則(民) |
| 三浦孝司(自) | 市川英男(公) |
| 松川浩明(自) | 下奥奈歩(共) |

委員会

6月27日、28日、29日及び30日に各常任委員会が開催され、それぞれ付託された知事提案議案及び請願の審査や一般質問が行われました。

請願

8件の請願が提出され、関係常任委員会で審査された後、本会議で審議され、すべて不採択とされました。

※会派は次のとおり略称としました。
(自)=自由民主党愛知県議員団
(民)=民進党愛知県議員団
(公)=公明党愛知県議員団
(共)=日本共産党愛知県議員団

お知らせ

- 平成29年9月定例愛知県議会(予定)
[会期:9月21日(木)~10月13日(金)]
- 代表質問:9月26日(火)
- 一般質問:9月27日(水)~29日(金)
- 委員会:10月3日(火)~6日(金)

ホームページ

●本会議等の日程や質問通告、結果概要などの情報を掲載しています。
●本会議及び委員会の会議録について順次掲載しています。
●本会議中継や、おおむね過去1年分の録画中継を行っています。録画映像はスマートフォン、タブレット端末等からご覧いただけます。